

演奏者プロフィール

PDK ピアノデュオ クトロヴァッツ

ピアノデュオ・クトロヴァッツ(兄ヨハネス Johannes Kutrowatz 弟エドワード Eduard Kutrowatz)は、ハイドン音楽院でピアノを習い始め、ウイーン国立音楽大学へ進学。共に師事したR.K. プライゼンハマー女史の刺激を受け、ピアノ4手連弾や2台ピアノ演奏に本格的に取り組む。兄弟とも、卒業の翌年から同大学の教授に就任。1986年、イタリアのストレサ国際コンクール、ピアノデュオ部門で第1位を獲得。これまでにヨーロッパ諸国、アジア、北米、オーストラリア、アフリカへのコンサートツアーを行い、世界有数のホールや音楽祭で演奏。シューベルト、ブラームス、リスト、ガーシュウィン、ピアノソナタ作品等のCD制作において高い評価を得ている。兄弟共に、リストの生地ライディングで開催される「リスト・フェスティバル」の音楽監督として活躍中。2011年3月のサントリーホール公演では、満席の聴衆を魅了した。

ヴァイオリン・クリスチャン・シヨル Christian Scholl

ドイツ生まれ。1998年、カールスルーエ州立音楽大学を首席で卒業。1998年グラーツ音楽大学、2000年シュトゥットガルト音楽大学カルテットクラスに進み、2002年首席で卒業。1997年からウイーン室内管弦楽団に参加。2001年コンサートマスター、リスボン・メトロポリタン管弦楽団コンサートマスター等を歴任。現在ウイーン王宮オーケストラのコンサートマスター。

ヴィオラ・シンシア・リャオ Cynthia Liao

台湾生まれ。2000年ウイーン国立音楽大学卒業。2001年～2003年ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ交響楽団で首席奏者。2004年リンツ州立ブルックナー管弦楽団首席奏者。現在ウイーン室内管弦楽団、ジャズカルテット「ラジオ・ストリング・カルテット・ウイーン」メンバー。

チェロ・ルイス・ゾリタ Luis Zorita

スペイン生まれ。スペイン、アメリカで学び優秀な成績で卒業。スペイン、アメリカ、日本、オーストリアで開催されたソロコンテストで1位を獲得。1999年からフリーランスの演奏家としてウイーンを拠点にソロ活動し、マスタークラスでの定期的な指導や、ヨーロッパのオーケストラやスーパーワールドオーケストラでの客演などで活躍している。

尺八・米澤 浩 Yonezawa Hirosh

宮田耕八朗氏に師事。78年日本音楽集団入団。79年から海外での活動を開始。欧州、北米、中米、アジア等で公演し、200以上の海外公演の実績を持つ。日本音楽集団の活動を通じて、ゲヴァントハウス・ニューヨークフィル・ヘルシンキフィル、読響、都響、京響等内外のオーケストラとの共演経験を持つ。CD6枚リリース。

箏・熊沢 栄利子 Kumazawa Eriko

砂崎知子氏に師事。NHK邦楽技能者育成会卒。1981年NHKオーディション合格。1978年日本音楽集団に入団し、中心的メンバーとして国内外の公演に数多く参加す他、スーパー歌舞伎など演劇・放送音楽や講習会の講師等も務める。91年より尺八の米澤浩と開催した「ジョイントリサイタル・シリーズ」で委嘱したメナリを契機としてソウル国立管弦楽団、大邱市立国楽管弦楽団からコンチェルトのソリストとして招聘を受けている。海外ツアーは欧州、中米など60公演を超え、様々なジャンルとの共演にも意欲的に取り組んでいる。

津軽三味線・二代目 三山 貢 Miyama Mitsumasa

津軽三味線真正流家元(現宗家)を父に持ち、民謡・和楽器の他、幼い頃よりピアノ、ギターなど、楽器に触れて育つ。五線譜による三味線演奏についても積極的に学ぶ。99年邦楽界の登竜門である、NHK邦楽技能者育成会を卒業。津軽三味線コンクール全国大会、独奏一般の部、03年04年連続上位入賞。2015年二代目襲名。

作曲・相澤 洋正 Aizawa Hiromasa

長野県出身。千葉大学教育学部卒。ピアノ曲や合唱曲、弦楽アンサンブル、絵本音楽など多数。

2010年山中湖国際音楽祭からの委嘱をきっかけに邦楽作品にも取り組み、「邦楽いろはにほ〜」「公益財団法人しまね文化振興財団」等から委嘱を受け、作品を発表。また、ピアノデュオ・クトロヴァッツのために「ふるさと」「ていんさぐぬ花」「母」を編曲。

2012年には弦楽四重奏のための「夢宵桜」がレオポルド美術館(ウイーン)にて初演された。2014年ピアノソロ用楽譜集「メモリーズ」を出版。

2017年春、相澤洋正作品集CDをリリース。ラトレ音楽事務所代表。 <http://www.lattrait-music.com/>